

私達のごみをめぐる環境

グリコン交野より報告

私達は永い間「生ごみの堆肥化」を叫んできました。今回、交野市へ給食残渣の一部を堆肥化実験させてほしいと要望しました。

今まで家庭でダンボールを使って生ごみを堆肥化するやり方（別紙参照）を中心に、出前講座などで呼びかけてきたこともあって、時間はかかったけれども市当局も“OK”を出してくれて昨年9月9日から毎週火曜日に水切りした給食残渣バケツ一杯（10kg程度）を大きな木の箱に腐葉土とぬかで作った堆肥床へ入れて家庭でするやり方と同じ方法をくり返しました。

大阪産業大学の方々にも手伝っていただくことができ、まあまあ官・学・民の共同作業という形になりました。上手に堆肥化出来ているか研究結果のデータはまだ出ていないけれど経過はおおむね成功であったようです。何より市当局が一市民団体がこの様な永い間熱意を持って取り組んでいることを考え、新しい炉の建設の際は生ごみプラントも視野にいれなくてはと前向きな考えをしてくれています。

私も2009年は交野市（四条畷市と共同）の新炉建設の検討委員として参画することができ、やっと資源としての生ごみの活用が始まるかもしれないとワクワクドキドキしています。

代表 坂本茂代



森之宮・環境をよくする会より報告

今年はもっと活動を行政等に訴えていこう！！・・・年頭に決めた。

昨年1月に平松市長あてに要望書を提出。城東区5人の市議員さんに陳情訪問。5月から城北環境センターの協力を得、地域の掃除。7月「大阪市ごみ焼却工場整備・配置計画検討委員会」の委員全員に陳情の手紙を郵送。8月環境局主催「環境調査隊」に参加...

事業系のごみ等まだまだ減量努力がなされていない。今でも焼却工場が余っているのに、これからもっとごみも減るだろう。それでも、環境局は住宅地の中にごみ焼却場を建てようとしている。

「森之宮焼却工場移転建設反対」を意見として訴えよう。そして自分達も努力をしよう。ごみの減量、まちの清掃、風通しのよい正しい情報が共有できるコミュニティ作りを。

8月7日、平松市長が突然「森之宮焼却工場の移転建設計画を凍結する」と発表した。願いが通じたのか！？しかし、あくまでも凍結であって いつ解け出すかわからない。

引き続き“意見”を訴えて行こう。

代表 藤本千恵

